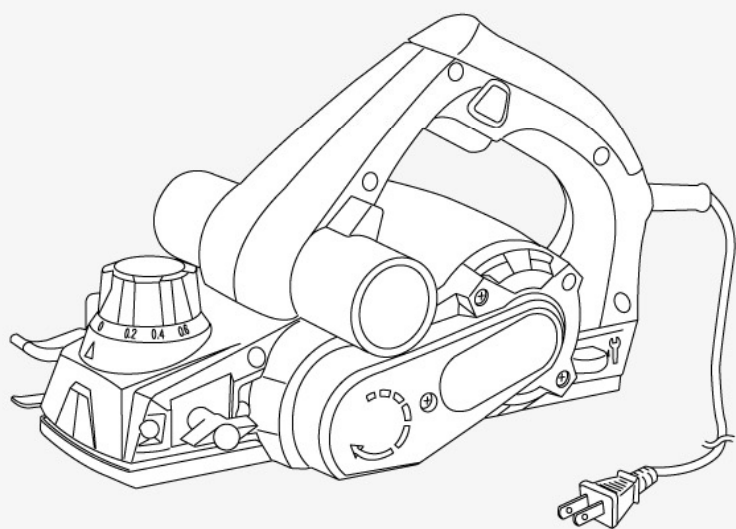


EARTH MAN

アースマンシリーズ

替刃式電気かんな 82mm PLA-110



※二重絶縁

電気回路と使用者間を二重に絶縁した構造のこと。

お客様へ

●本製品はDIY・一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。



取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に 1

安全にお使いいただくために

電動工具を安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために

本製品について 8

用途

各部の名称・セット内容

仕様

使用前の準備 10

作業を行う前の確認

かんな刃の確認・交換

刃先高さの調整

使い方 15

付属品の取り付け

切削深さの調整

スイッチ操作

フット

切削作業

お手入れ 22

保守・点検

お手入れと保管

お買い上げの後に 26

別売品のご紹介

保証書

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の

3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。また、本製品はDIY・一般家庭用として開発されています。DIY・一般家庭用としてお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

電動工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

警告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。

- 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
また、作業の妨げになる物は取り除いてください。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 作業場は十分明るくしてください。
- ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
- 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)

3. 作業者以外を近づけないでください。

- 特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。

4. 作業に適した服装で作業してください。

- 作業をするときは保護メガネを着用してください。
- 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

- 軍手など巻き込まれる恐れのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)など防音保護具を着用してください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。
また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるケガの原因)

7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、電動工具の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

10. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取り扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因)
- 本製品の使用中に、身体をアース(接地)されている物(エアコンの室外機や金属製の支柱など)に接触させないでください。(感電の原因)

11. 通気孔をふさがないでください。

- 本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

お使いになる前に(続き)

12. 使用電源は必ず家庭用 AC100V電源を使用してください。

- 200V用電源に接続して使用しないでください。(火災・故障の原因)
- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。
(火災・故障の原因)

13. コードなどの取り扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のところがった所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(火災・故障の原因)
- 作業員以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器の設置をお勧めします。

14. 不意な始動はさけてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 本製品を移動する場合や付属品を交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 使用しない場合・作動すると危険な場合・停電のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

15. 材料側を動かして加工する場合を除き、加工物はしっかりと固定してください。

- 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力などで固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

16. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(ケガの原因)

17. 作動している状態のまま放置しないでください。

18. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

- 高所作業のときにコードを引っ掛けたりした場合、事故・ケガの原因となります。

19. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況などに十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

20.ヤケドに注意してください。

- 使用直後は、本体（モーター）や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

21.定期的に点検してください。

- 電源プラグ・通気孔にほこりや粉じんなどが付着している場合には、よく取り除いてください。（火災・故障の原因）

22. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、小さなお子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

23. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

24.ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または（株）高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

⚠ 注意

1. 延長コードを使用する場合

- 延長コードが必要な場合は、目安として本製品の電源コードと同じ被覆で同じ太さ以上の物を使用してください。
- コードの長さについては下の表を参照してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用する最大の長さ		
	～5A	5～10A	10～15A
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.0mm ²	50m	30m	20m

- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードは全て引き出して使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項などをよく読み正しく使用してください。

2. 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。

- 長時間の連続使用はしないでください。(故障・破損の原因)

3. 騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

4. 作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(ケガの原因)

5. こまめにお手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

6. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光のあたる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。

本製品を安全にお使いいただくために

警告

1. 使用中は本体を両手で確実に保持してください。(ケガの原因)
2. 使用前ごとに必ずかな刃締め付けボルトがしっかりと締め付けられているか確認してください。
 - 締め付けが不十分だとケガ・故障・加工物の損傷の原因となります。
3. 使用中は切りクズの排出口に指などを絶対に入れないでください。
 - 回転しているかな刃に触れ、ケガの原因となります。
4. 絶対に加工物を手に持って作業しないでください。
 - かな刃が手に触れケガの原因となります。
5. 本体を万力などで固定して、かな刃を上向き(定置形)にした使い方は絶対にしないでください。
 - かな刃が手や身体に触れ、ケガの原因となります。
6. 加工物は、かな作業に合った安定性の良い台(木製)に置いて作業してください。加工物が不安定な状態で作業するとケガの原因となります。
 - 加工物はクランプ・万力などを使用し、しっかりと固定してください。
7. 加工物に釘などの異物がないことを作業前に十分確認してください。
 - 刃こぼれだけでなく、反発によるケガの原因となります。
8. 使用中は手や身体などを本体の底面に絶対に近づけないでください。(ケガの原因)
9. かな刃を交換するときは、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

お使いになる前に(続き)

注意

1. 本製品はDIY・一般家庭用です。建築作業など精度が必要な作業には使用しないでください。
2. かなな刃や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - 確実でないと作業中に外れたりして、ケガ・故障の原因となります。
3. かなな刃の取り扱いには、手袋・布などで手を保護して十分に注意してください。
 - 不用意に扱うとケガの原因となります。
4. かなな刃の交換や刃先高さ調整後は、かなな刃締付ボルトをしっかりと締め付けてください。
 - ボルトがゆるむと思わぬケガの原因となります。
5. 使用前ごとに必ず刃先高さ調整ネジにゆるみがないか確認してください。
 - ゆるんでいると加工物に傷をつける恐れがあります。
6. スイッチを切った後も惰性で回転しているかなな刃に注意してください。
 - 手や台などに触れるとケガや破損の原因となります。
7. 回転中のかなな刃に電源コードを接触させないでください。(感電・故障の原因)
8. ダストバッグ内には切りクズをためずに、こまめに捨ててください。
 - 切りクズが本体内部に入り込み、モーター故障の原因となります。
9. 切削深さを1mm以上にした場合は、モーターへの負担が大きくなりますので連続して行わないでください。(モーター故障の原因)
10. 常温(0~40℃)で使用してください。

注

1. かなな刃は両面に刃が付いていますので、切れ味が悪くなった場合は未使用側を使用してください。
 - 反対側を使用する場合は、刃に付いたヤニや汚れをきれいに取り除いてから取り付けてください。
2. かなな刃は替刃式のため、研磨はできません。

本製品について

用途

◆木材の平面削り・相じゃくり・面取り加工に

各部の名称・セット内容

要 確 認

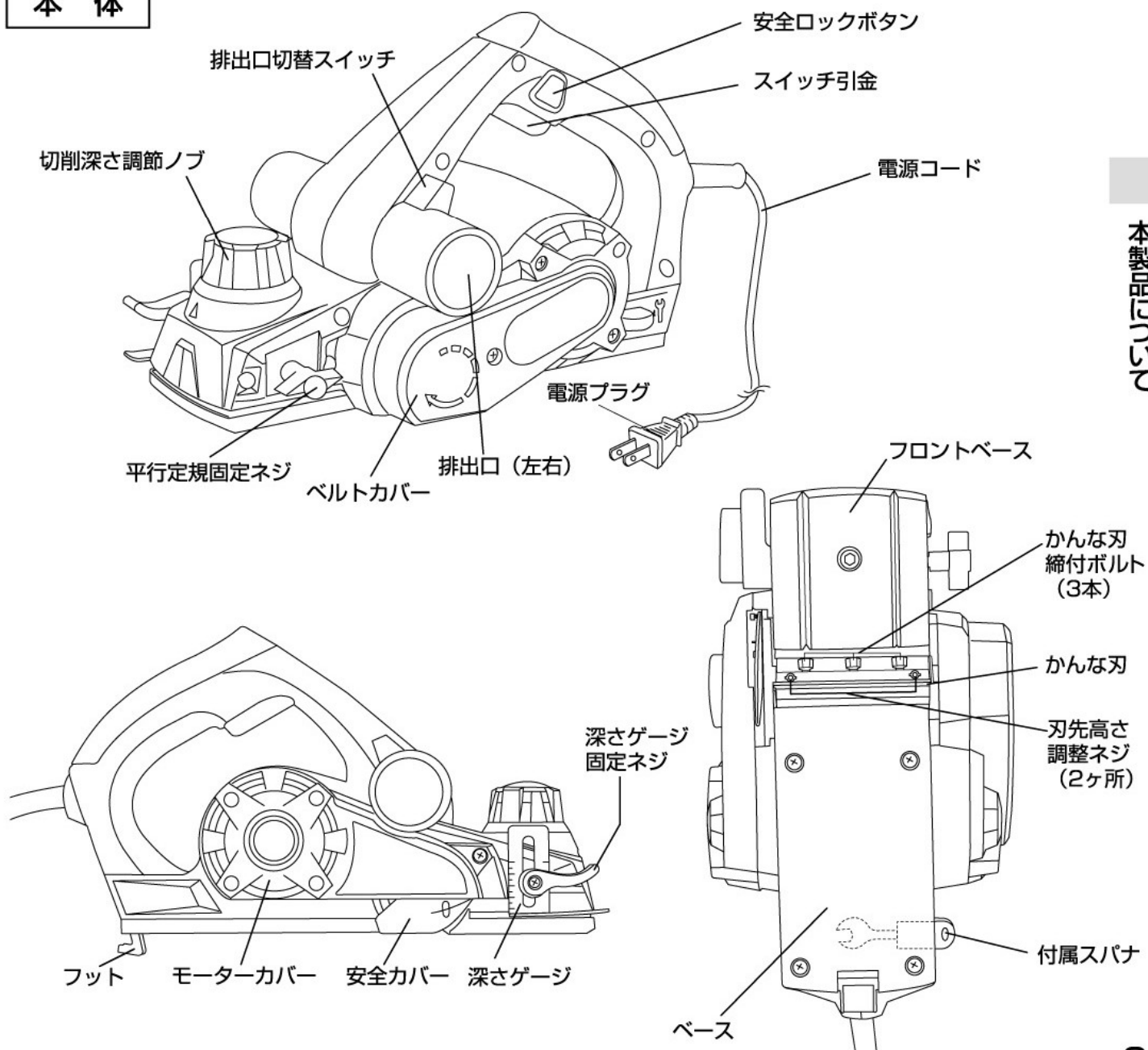
初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

●付属品が全て揃っているか

●破損した箇所はないか

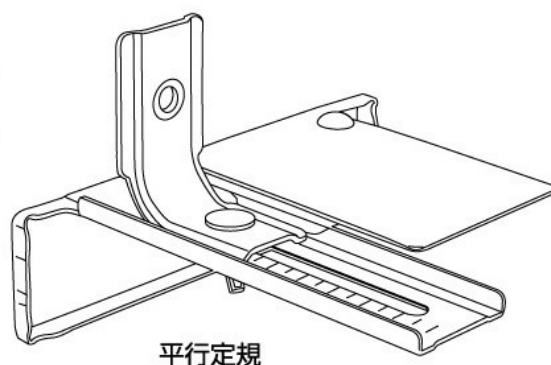
万一不具合な点がありましたらお買い上げの販売店または(株)高儀までご連絡ください。

本 体

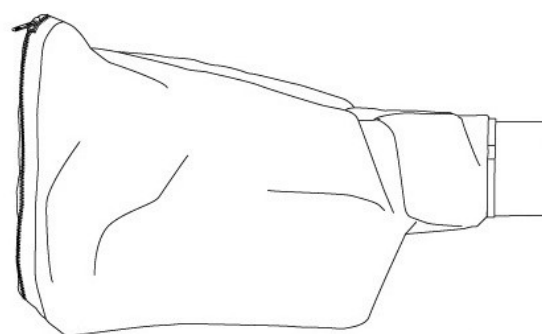


本製品について(続き)

付属品



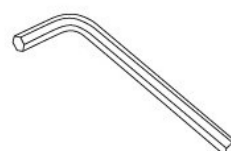
平行定規



ダストバッグ



スパナ
(本体に収納されています)



六角棒レンチ

仕様

電	圧	AC100V
周	波	数
		50/60Hz
電	流	7.5A
消	費	電
		力
		700W
回	転	数
		約16,000min ⁻¹
切	削	幅
		約82mm
切	削	深
		さ
		最大 約1.6mm (0.2mm間隔で調整)
本	体	サ
		イ
		ズ
		約 長さ300×幅166×高さ173(mm)
質	量	約3.1kg
コ	ー	ド
		長
		約2m
定	格	時
		間
		30分

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

使用前の準備

作業を行う前の確認

1. 使用電源を確認してください。

- 必ず本製品に表示されている電圧（家庭用 AC100V）で使用してください。

警告

- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。

2. スイッチが切れていることを確認してください。

警告

- 使用しない場合や不意に始動すると危険な場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

3. かな刃の締め付けを確認してください。

- 工場組立時にかな刃締め付ボルトは十分に締め付けてありますが、輸送による振動などでゆるむ場合があります。必ずもう一度締め付けてゆるみがないことを確認してください。

警告

- かな刃の締め付けが不十分だと作業中に外れたりして、ケガ・故障の原因となります。

4. 刃先高さを確認してください。

警告

- 工場出荷時に刃先高さの調整はしてありますが、輸送時や使用中の負荷・刃の交換時にくるいが生じることがあります。使用前に必ず確認してください。確認・調整の方法はP13を参照してください。
- 刃先高さ調整ネジにゆるみがないか確認してください。ゆるんでいると加工物に傷をつける恐れがあります。

5. 調整や取り付けに使用した工具類が取り外されていることを確認してください。

警告

- 工具が取り外されていないと、故障や思わぬ事故の原因となります。

6. 作業台（木製）を用意してください。

- かな作業に合った、しっかりした作業台を用意してください。加工物が不安定な状態で作業するとケガの原因となります。

7. 作業前には必ず試運転を行ってください。

警告

- スイッチを入れるときは、かな刃が加工物などに接触していないことを確認してください。
- 使用前ごとに無負荷で1分以上の試運転をして異常がないことを確認してください。初めて使用するとき、かな刃を交換・調整したときは3分以上行ってください。

使用前の準備(続き)

かな刃の確認・交換

⚠ 警告

- 使用前ごとに必ずかな刃締め付けボルトがしっかりと締め付けられているか確認してください。
- かな刃を交換するときは、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 必ず専用の替刃を使用してください。
- かな刃を交換するときは必ず2枚同時に交換してください。
- かな刃は確実に取り付けてください。確実にないと外れたりして、ケガ・故障の原因となります。
- かな刃とかな刃ホルダーはかな胴に対して左右均等に固定してください。一方に片寄ると本体内部に接触することがあります。
- かな刃取り付け後は工具を取り外し、かな胴がスムーズに回転することを確認してください。

⚠ 注意

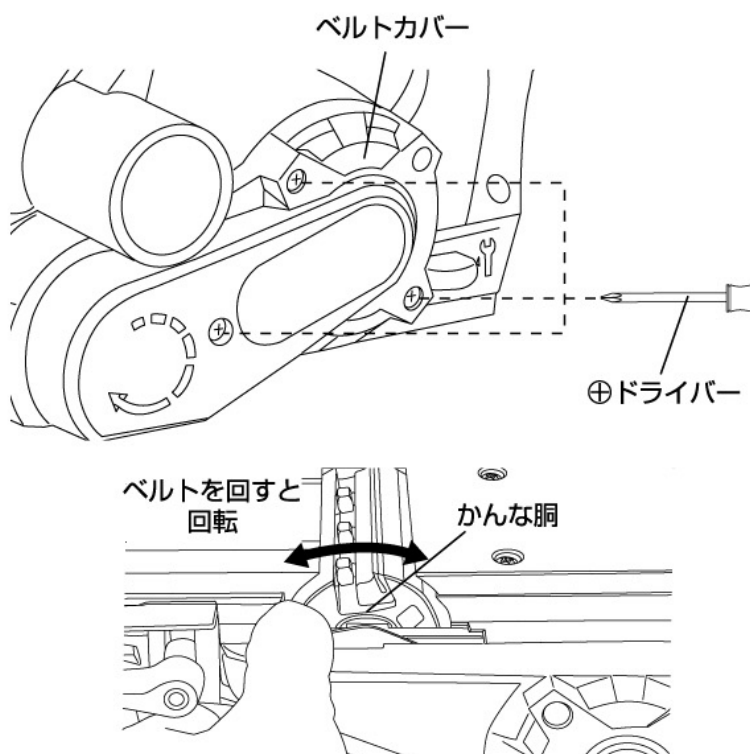
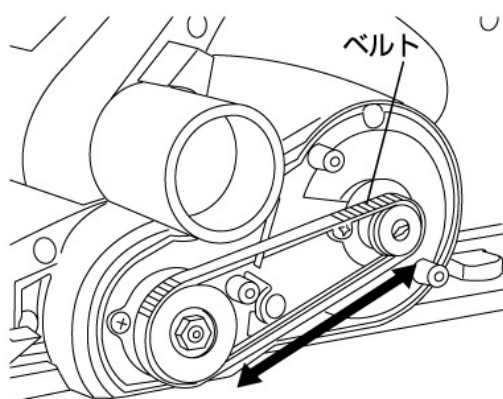
- かな刃の取り扱いには、手袋・布などで手を保護して十分に注意してください。不用意に扱うとケガの原因となります。

◆ 注

- ベルトカバーの取り付け・取り外しには⊕No.2ドライバーが必要です。セット内容には含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。
- かな刃は両面に刃が付いていますので、切れ味が悪くなった場合は未使用側を使用してください。反対側を使用する場合は、刃に付いたヤニや汚れをきれいに取り除いてから取り付けてください。
- かな刃は替刃式のため、研磨はできません。

かな刃の確認

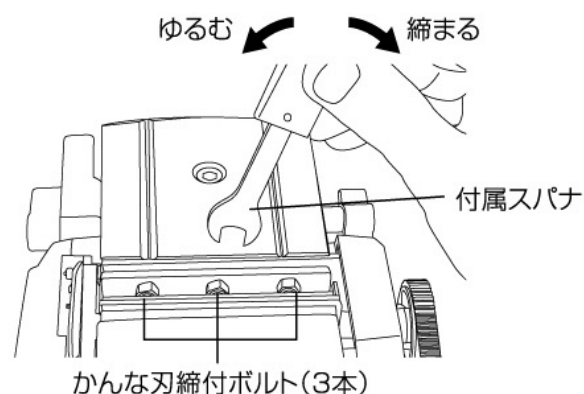
1. ⊕ドライバーでネジ(3ヶ所)をゆるめて外し、ベルトカバーを取り外してください。ベルトを手で回すとかな胴が回転します。



2. 本体を逆さにして固定し、かんな刃が見える位置にかんな胴を回転させます。

3. ベルトを手で押さえて固定しながら、付属スパナでかんな刃締付ボルトがゆるんでいるか確認してください。(付属スパナは本体後部に収納されています。)

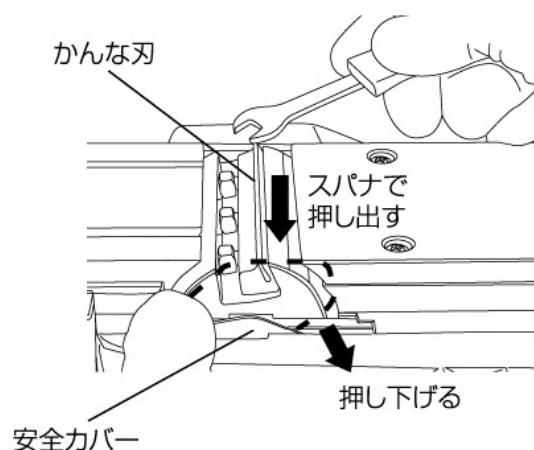
4. ベルトを手で回して、反対側も同様に確認してください。確認後はベルトカバーを元のようにしっかりと取り付けてください。



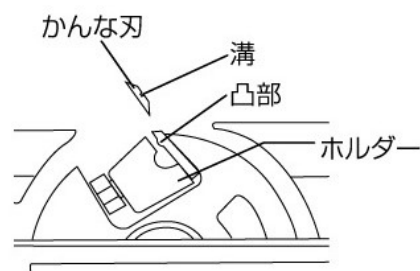
かんな刃の交換

1. かんな刃の確認と同じ要領で、ベルトを手で押さえて固定しながら、かんな刃締付ボルト3本を付属スパナでゆるめてください。

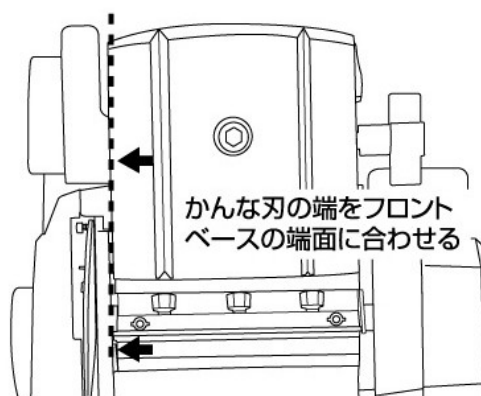
2. 安全カバーを手で押し下げてかんな刃をスパナで押し出してください。



3. かんな刃の向きをよく確認し、かんな刃の溝とホルダーの凸部を合わせて取り外しと逆の要領でホルダーに差し込んでください。かんな刃の安全カバー側の端面をフロントベースの端面に合わせてください。

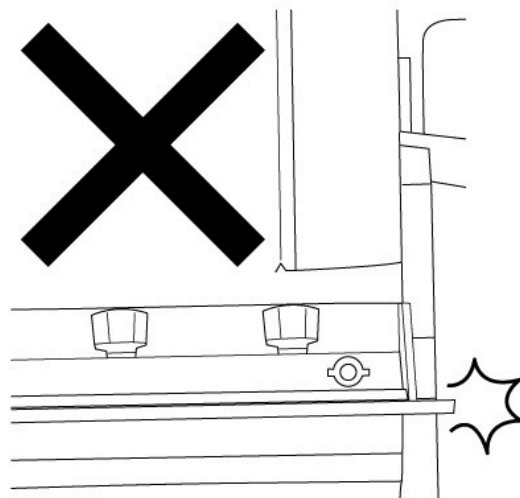


4. かんな刃締付ボルト3本をしっかりと締め付けてください。



使用前の準備(続き)

5. ベルトを手で回して反対側も同様にかなな刃を取り外し・取り付けしてください。
6. 取り付けが終わったらベルトを回し、かなな刃が本体内部に接触しないことを確認してください。
7. ベルトカバーを元のように取り付けてください。
8. かなな刃の確認: 交換後は必ず不要な材料で試し切削を行い、かなな刃締付ボルトのゆるみやかなな刃が外れたりしないことを確認してください。
また、かなな刃を交換・調整したときは3分以上の試運転をして異常がないことを確認してください。



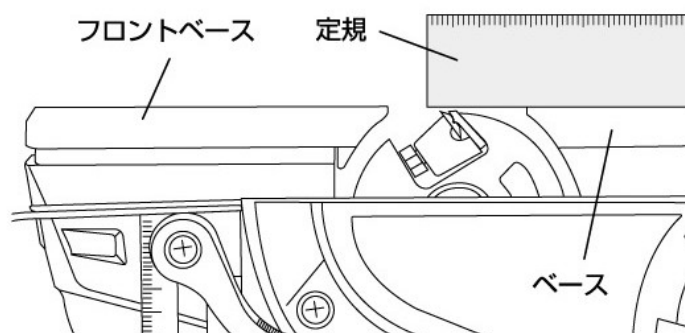
刃先高さの調整

刃先高さの確認

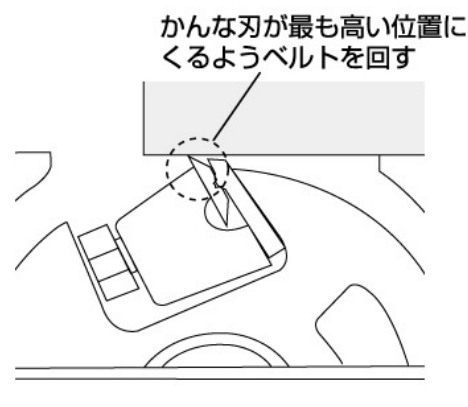


- 刃先高さの確認・調整には定規などが必要です。セット内容には含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。

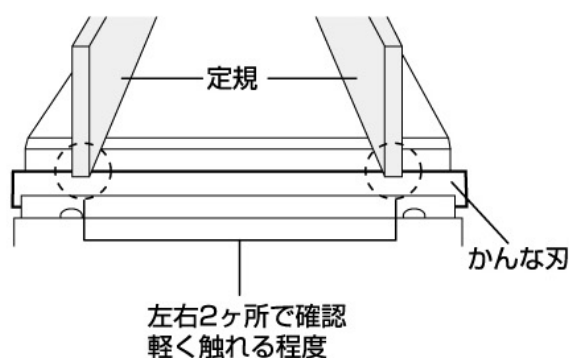
1. P11を参照しベルトカバーを取り外してください。
2. 定規を右図のようにベースにあてます。このとき定規はフロントベースにかからないようにしてください。



- 3.ベルトを手で回し、かなな刃が最も高い位置にくるときにかなな刃が定規に軽く触れる程度が適正です。刃の両端、左右2ヶ所で確認してください。



- 4.反対側も同様に確認し、適正の場合はベルトカバーを元のように取り付けてください。かなな刃がベース面よりも下がっていたり、出過ぎている場合は次の要領で刃先高さを調整してください。



刃先高さの調整

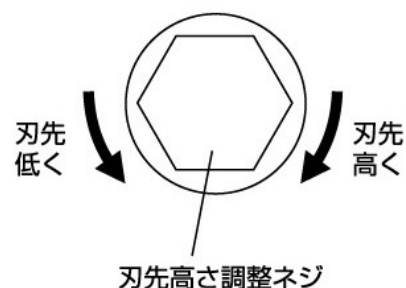
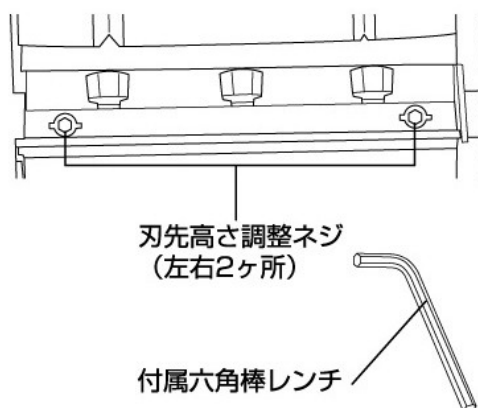
- 1.P12を参照してかなな刃締付ボルト3本をゆるめてください。

- 2.刃先高さ調整ネジを付属の六角棒レンチで回して調整します。右に回すと刃先は高く、左に回すと刃先は低くなります。まず刃先を低くしてから、少しずつ高くしていって調整してください。

※必ず左右の高さが同じになるように調整してください。左右の高さが違うと平らに切削できません。

- 3.刃先高さの調整が終わったら、かなな刃締付ボルト3本をしっかりと締め付けてください。その後、刃先高さ調整ネジにゆるみがないか確認してください。

- 4.反対側も同様に調整してください。刃先高さの調整が終わったら、ベルトカバーを元のように取り付けてください。



使い方

付属品の取り付け

ダストバッグの取り付け

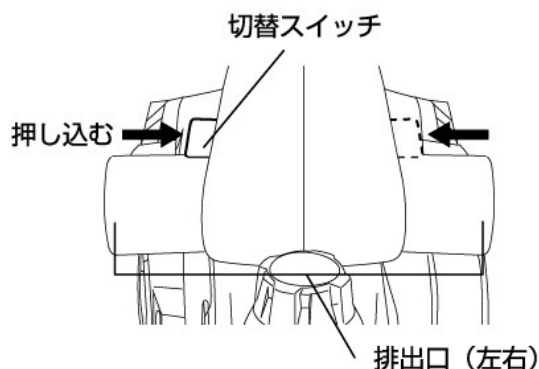
⚠ 注 意

- ダストバッグ内には切りクズをためずに、こまめに捨ててください。切りクズが本体内部に入り込み、モーター故障の原因となります。

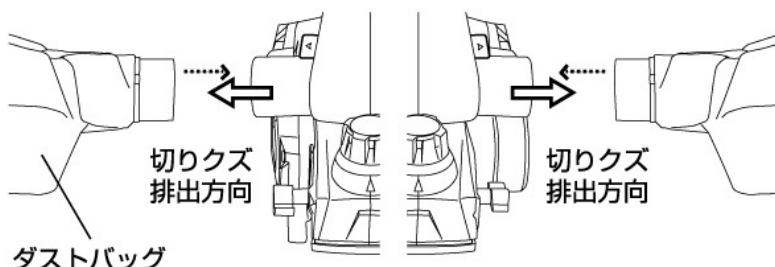
注

- ダストバッグは切りクズの一部を集める物です。
- ダストバッグを外しても性能上の問題はありません。
- 作業後はダストバッグの中に入っている切りクズを捨てて、ファスナーをきちんと閉めてください。また、作業前はダストバッグに切りクズがたまっていないか、ファスナーがきちんと閉まっているか確認してください。

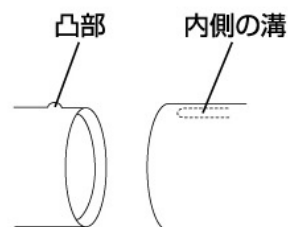
- 本製品は排出口切替スイッチを押し込むことで、切りクズの排出口を左右切り替えることができます。切替スイッチは途中で止めずに、必ずどちらか一方に押し切ってください。



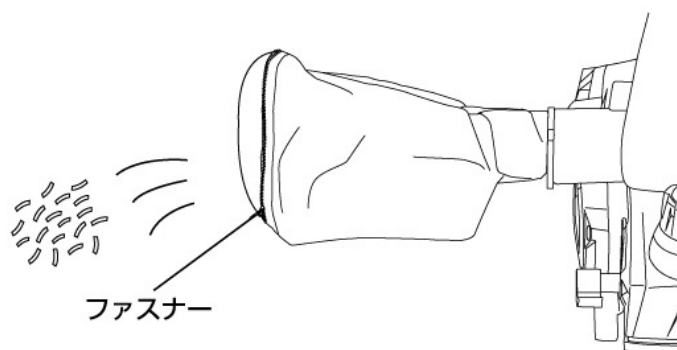
- 排出口切替スイッチの矢印の向きに切りクズが排出されます。切りクズが排出される側にダストバッグを取り付けてください。



- ダストバッグ取付部の凸部を排出口内側の溝に合わせて差し込んでください。



- ダストバッグ内の切りクズを捨てるときは、ファスナーを開けて捨ててください。また、排出口内部に入っている切りクズも取り除いてください。



⚠ 警 告

- 使用中は、手や身体などを本体の底面に絶対に近づけないでください。(ケガの原因)
- 手を進行方向に絶対に置かないでください。危険ですので、スイッチ引金を握っていない方の手は切削深さ調整ノブを持ってください。
- 加工物はしっかりと固定してください。固定にはクランプや万力などを使用してください。
- 使用中は本体を両手で確実に保持してください。(ケガの原因)
- 絶対に加工物を手に持って作業しないでください。かなな刃が手に触れケガの原因となります。
- 本体を万力などで固定して、かなな刃を上向き(定置形)にした使い方は絶対にしないでください。
- 使用中は切りクズの排出口に指などを絶対に入れないでください。回転しているかなな刃に触れケガの原因となります。
- スイッチ引金を戻しても、かなな刃は惰性で回転しています。作業台や床などに置くときは回転が止まっていることを確認してください。

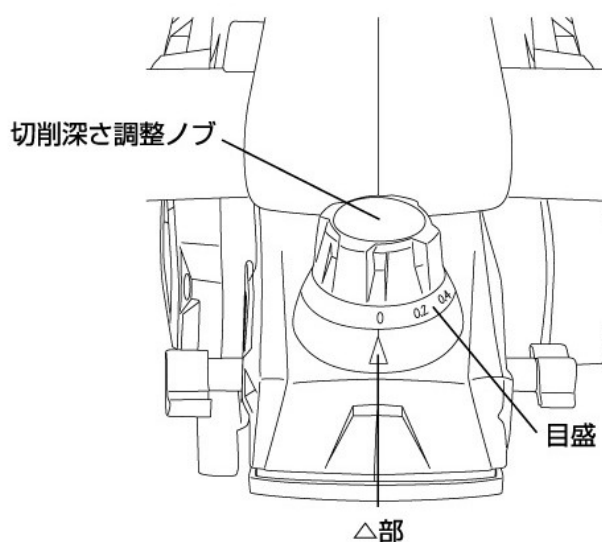
◇ 注

- 切削深さの目盛はあくまで目安です。精度を求めるには実測で調整してください。作業を失敗しないために、不要な材料で試し切削を行ってください。
- 切削深さは0.2mm間隔で調整することができます。また、0.2mm以下の微調整はできません。
- 硬い材料(ケヤキ材など)の切削では、刃先の摩耗が早くかなな刃の切れ味が極端に悪くなります。切削深さを浅くしてゆっくり切削してください。
- 切削面に節がある場合は切削深さを浅めに調整してください。深く切削すると節が飛ぶ場合があります。

切削深さの調整

- 本製品の一度に削れる深さは約0.2～1.6 mmです。0.2mm間隔で調整することができます。

- 切削深さ調整ノブを回して、好みの切削量の目盛を△部に合わせてください。ノブはカチッと音がする位置で止めてください。



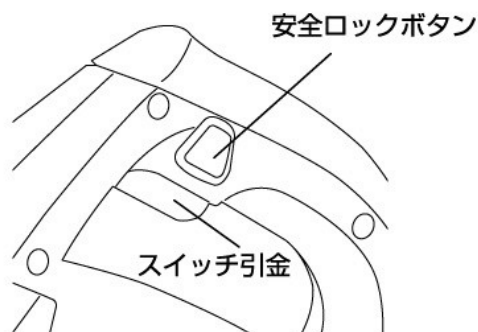
使い方(続き)

スイッチ操作



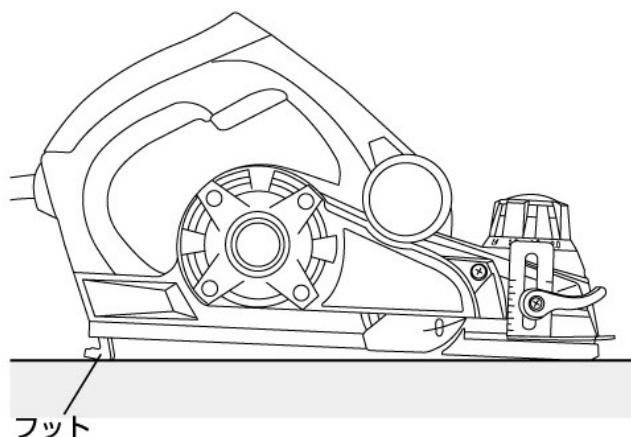
- 安全のため、安全ロックボタンを押さないとスイッチは入りません。無理にスイッチ引金を引かないでください。また、スイッチの固定はできません。

- 安全ロックボタンを押しながらスイッチ引金を引くと回転し、引金を戻すと回転が止まります。



フット

- 本体後部を上げるとフットがベース下に出てきます。フットを出した状態で置けば、かな刃が加工物や作業台に接触するのを防ぐことができます。



切削作業

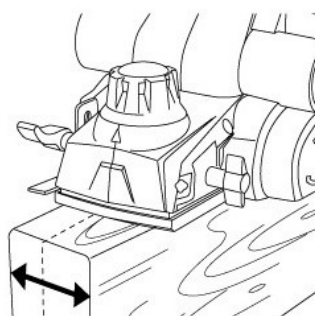
平面削り



- 加工物や作業台の上に置いた状態でスイッチを入れないでください。かな刃が回転し、ケガの原因となります。
- 削り始めと削り終わりのときに本体が傾かないように注意してください。本体が傾くと加工物の端を削り過ぎます。

⚠ 注 意

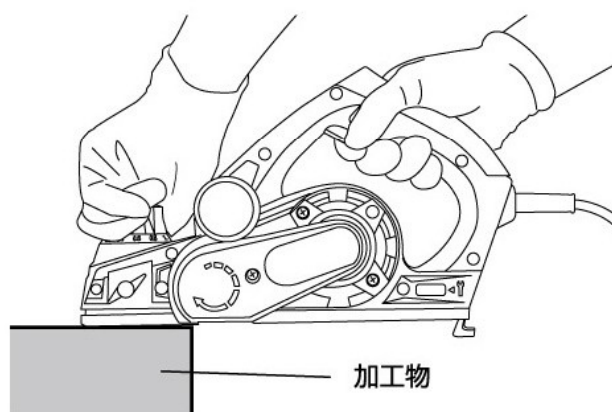
- 幅の狭い加工物を切削する場合は、本体の中心と加工物の中心を合せて切削してください。かな刃の端を使用すると不安定でケガの原因となります。



◆ 注

- きれいに仕上げたい場合は、始めのうちは切削量を深くして荒削りをして、徐々に浅くして切削し仕上げてください。また表面仕上げにはオービタルサンダーなど、他の電動工具の使用をお勧めします。

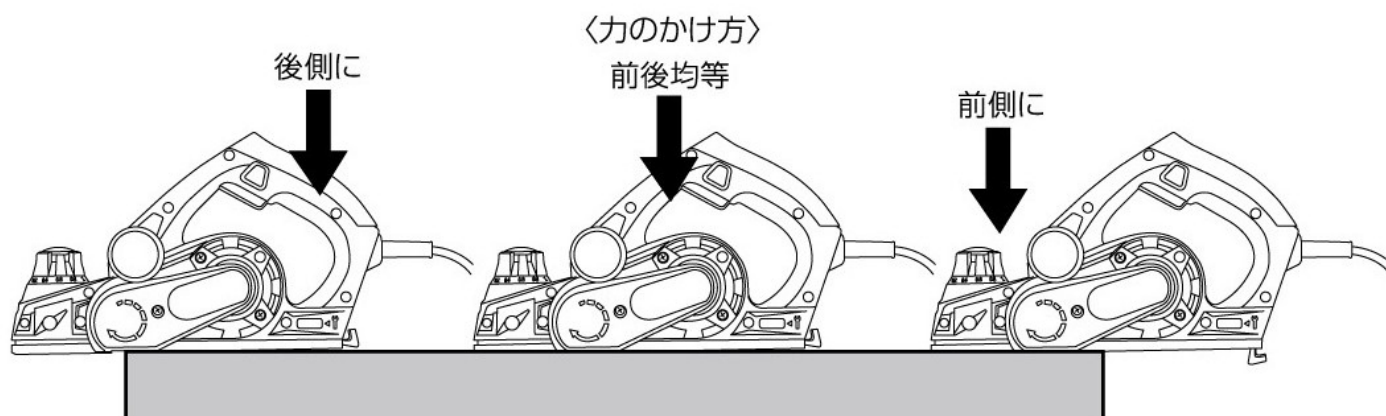
1. 切削深さを調整して、フロントベースを加工物に置きます。本体を両手でしっかりと保持してください。



2. かな刃が加工物に接触しない位置でスイッチを入れます。回転が一定になったら加工物の上を滑らかに動くように、水平を保ってゆっくり前へ進めてください。削り始めは前側に、削り終わりは後側に力をかけてください。

※ 削り始めと削り終わりに本体が傾かないように注意してください。また、本体を送る速度が速いと加工面に削り跡が残る場合があります。

〈削り終わり〉 ← ----- 〈削り始め〉



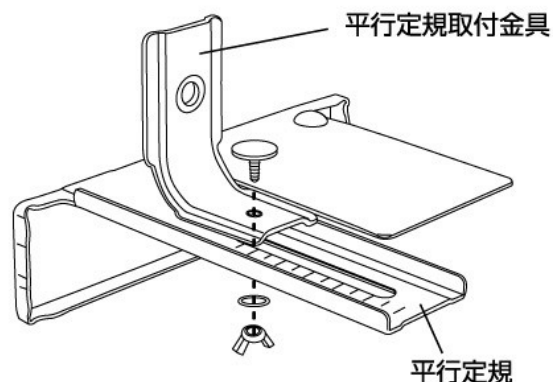
使い方(続き)

平行定規の取り付け

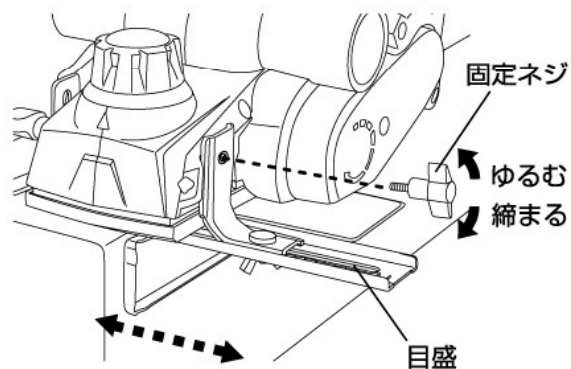


- 平行定規の目盛はあくまでも目安です。正確な位置を決めたい場合は市販のスコヤや三角定規などを使用し、平行定規の位置を調整してください。
- スコヤや三角定規などはセット内容に含まれておりませんので、お手持ちの物を用意してください。

1. 平行定規取付金具と平行定規を右図のように組み立ててください。

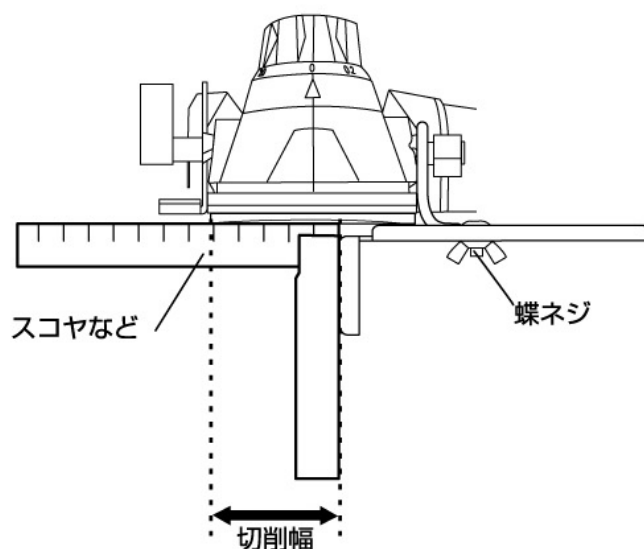


2. 本体に取り付けてある平行定規固定ネジで平行定規を本体に取り付けて、固定ネジをしっかりと締め付けてください。



3. 平行定規には目安の目盛がついています。目盛を参考に、蝶ネジをゆるめてお好みの位置に移動させてください。

※ 正確な位置を決めたい場合は市販のスコヤや三角定規などを使用してください。

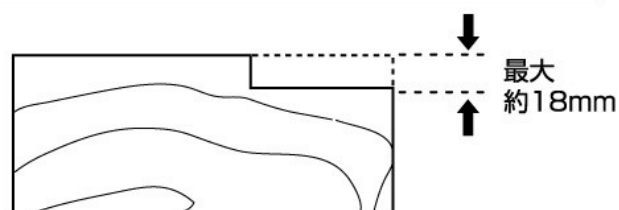


相じゃくり加工(段差をつける削り方)



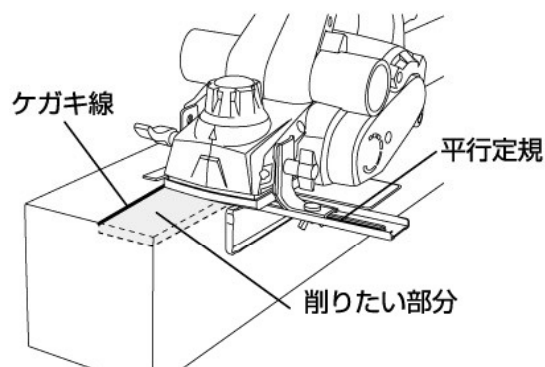
- 一度の切削で目的の深さに加工するのではなく、数回に分けて切削してください。
- 平行定規と加工物の側面をぴったりつけた状態で切削してください。隙間がある状態だと、削り幅が一定せずムラ・ゆがみの原因となります。
- 相じゃくり深さは最大で約18mmまでです。
- 深さゲージの目盛はあくまでも目安です。

●右図のように段差をつける切削加工です。

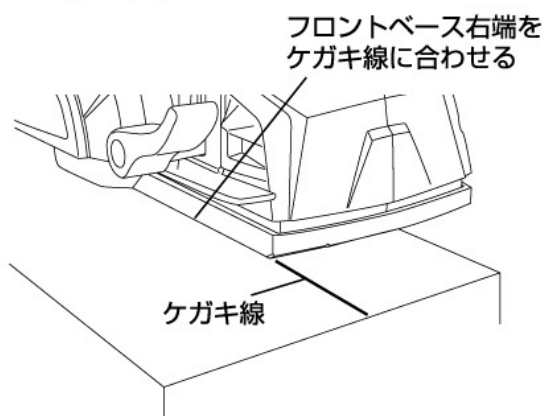


1. P19を参照して平行定規を本体に取り付けてください。

2. あらかじめ加工物の削りたい幅の位置にケガキ線を引きます。



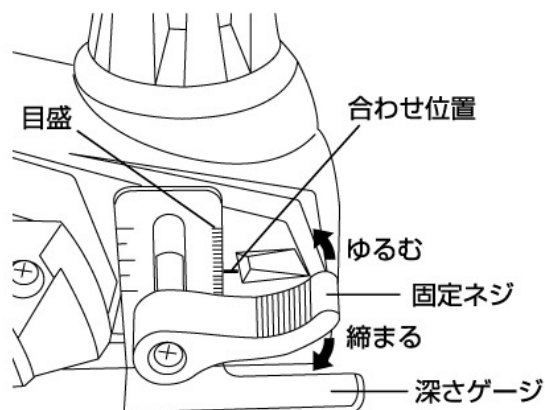
3. フロントベースの右端をケガキ線に合わせて本体を置き、平行定規を加工物の側面にぴったり合わせ蝶ネジを締め付けて固定してください。



4. 深さゲージ固定ネジをゆるめて、切削したい深さの目盛を合わせ位置に合わせてください。

※本製品で加工できる段差の最大深さは約18mmです。

5. 平面削りと同じように作業してください。深さゲージが加工物にあたるまで切削してください。



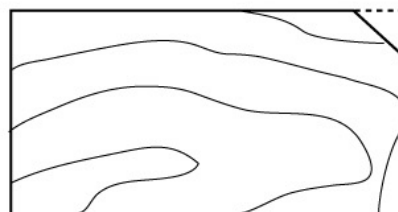
使い方(続き)

面取り加工

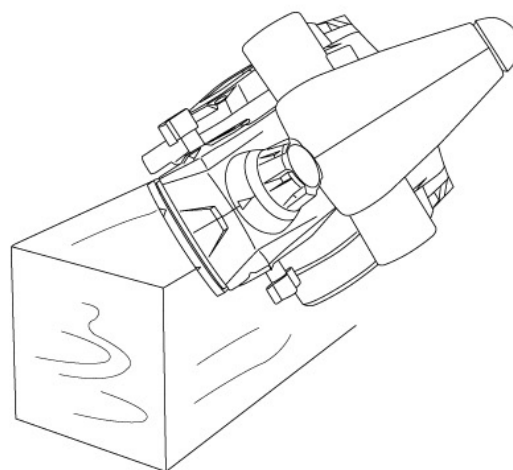
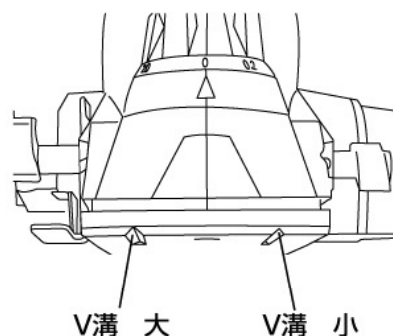


●加工精度が必要な場合は、トリマなど他の電動工具を使用してください。

1. 切削深さを調整して面の大きさを決めてください。



2. フロントベースのV溝大小いずれかを加工物の角に合わせ、本体を右図のように傾けて切削してください。



お手入れ

⚠ 警告

- 各部の点検・部品交換などをするときは、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 各部の点検後はネジなどをしっかりと締め付けてください。

保守・点検

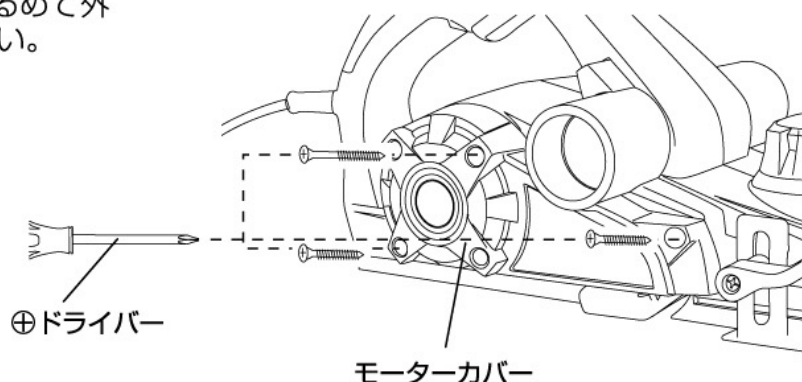
カーボンブラシの点検と交換

注

- 必ず本製品専用のカーボンブラシを使用してください。
- カーボンブラシは2個で1組です。交換するときは必ず2個(左右)同時に交換してください。
- カーボンブラシの交換には⓪ドライバーなどの工具が必要です。セット内容には含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。
- カーボンブラシは定期的に取り外して点検してください。

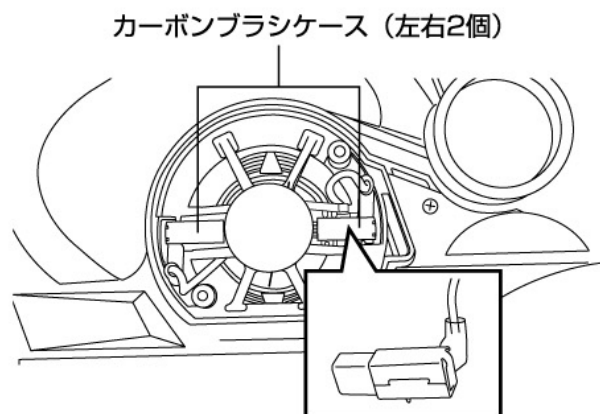
本製品のモーター部にはカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは消耗品です。スイッチを入れても作動・回転しない場合は、カーボンブラシの摩耗限度を超えている場合があります。
※交換用カーボンブラシのお買い求めは、本製品をお買い上げの販売店へお問い合わせください。ご注文の際は「EM 替刃式電気かんな82mm PLA-110用カーボンブラシ」とお伝えください。

1. ⓪ドライバーでネジ(3ヶ所)をゆるめて外し、モーターカバーを外してください。

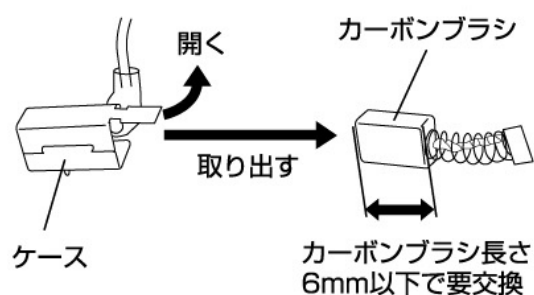


お手入れ(続き)

- 2.カーボンブラシケースを取り出し、ケース後部を開いて中のカーボンブラシを引き抜いてください。カーボンブラシの長さが6mm以下になっていれば2個同時に交換してください。



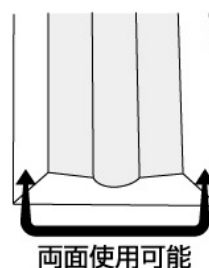
- 3.カーボンブラシを点検した後は、元のようにセットし、モーターカバーを取り付けてください。



かな刃の点検

- かな刃は消耗品です。使用により摩耗・劣化しますので、切れ味が悪くなったり、異常が見られた場合は使用していない側の刃、または新しい替刃と交換してください。また交換する場合は必ず2本同時に交換してください。(交換方法はP12参照)

※本製品のかな刃は研磨できません。



各部取付ネジの点検

- 各部取付ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるんでいるネジがあればしっかりと締めなおしてください。

お手入れと保管

清 掃

- 本体のお手入れにワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(破損・故障の原因)
- 油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- 使用後はベルトカバーを外し、ベルトを手で回しながらかな胴のまわりなどの切りクズをきれいに取り除いてください。手袋などを着用し手を保護してください。

保 管

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した・小さなお子様の手の届かない所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

MEMO

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

お買い上げの後に

別売品のご紹介

- 本製品をお買い上げの販売店にてお買い求めください。ご注文の際は、下記品名・JANコードをお伝えください。

品 名	JANコード
替刃式電気かんな用 かんな刃(2枚入) 82mm No.1	4907052 553682

お買い上げの後に(続き)

保証書

販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名	EM 替刃式電気かんな 82mm			お買い上げ日	年 月 日
型式	PLA-110	JAN コード	4907052 553507	保証期間	お買い上げ日より 6ヶ月
販売店	販売証明書や レシートなどを 添付してください。				

保証規定

1. 本書はお買い上げ商品にのみ適用されますので、一切の工事費用などは適用外となります。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
 - 一般家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き替えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。

発売元



株式会社 高儀

技術的・専門的情報の
お問い合わせは…

お客様
相談窓口

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00~PM5:00(土日祭日および弊社の休日を除く)

■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがあります。個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。